

# 1 戦略的な観光地域づくり

## (1) 戦略的な観光地域づくりの体制整備（日本版DMO）

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ICTを活用した旅行者データベースシステム構築事業 19,492(千円)	富山県立大学と共同して、県内宿泊者に対するWEBアンケート収集システムやスマートフォン用観光アプリを開発し、旅行者データベースシステムを構築するとともに、データの収集を行った。	観光課
新幹線駅、空港での旅行者実態調査事業 2,484(千円)	新幹線3駅及び空港において、旅行者へのアンケート調査を実施のうえ、調査を分析し、市町村へデータ提供を行った。	観光課
富山県観光客動態調査（観光地店パラメータ調査）事業 3,981(千円)	県内での訪問地点数や観光消費額等について、観光客に面接アンケートを実施した。	観光課
マーケティング戦略委員会設置・開催事業 3,069(千円)	日本版DMOとして活動するため、専門人材を配置のうえ「マーケティング戦略委員会」の設置に向け、ワーキンググループでの協議を行った。	観光課
DMO周知・普及啓発事業 385(千円)	観光関係者に理解を深めてもらうため説明会（勉強会）を開催した。	観光課
DMO事業計画策定事業 5,911(千円)	各種データを収集・分析のうえDMOとして今後取り組むべき事業計画を検討した。	観光課
観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト 6,100(千円)	質の高いブランドイメージを確立するための取組みに重点的に支援を行った。	観光課
新旅行造成市町村タイアップ事業 16,647(千円)	市町村と連携し、観光地を満喫できる魅力的な体験プログラムを開発し、周遊性を高めることなどで、県内の滞在時間を高めた。また、首都圏等でPRを行った。	観光課

富山まるごと商品化プロジェクト事業 13,332(千円)	旅行者の周遊を促進し、本県での滞在時間及び消費額の拡大を図るため、地域の観光資源の商品化・ブラッシュアップ及び販売管理、旅行会社への営業プロモーション、観光素材説明会の開催等を行った。	観光課
着地型旅行商品造成販売支援事業 4,035(千円)	着地型旅行商品の造成・販売を行った。	観光課
ターゲットに応じたPR事業 6,450(千円)	マーケティングに基づき、ターゲットに応じた効果的なプロモーション（広告掲載等）を行った。	観光課

## (2) グローバル化に対応した次世代の観光を担う人づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光未来創造塾事業（再掲） (16,196千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。 ○修了生 43名 (内訳) 観光おもてなし入門コース 17名 観光ガイドコース（中級専攻） 11名 観光魅力アップコース（食のおもてなし専攻） 3名 〃（観光地域リーダー専攻） 11名 グローバルコース 1名	観光課
外国人対応サービス人材育成事業 (16,816千円)	外国人旅行者の受入態勢を充実させるため、観光事業者において雇用型訓練を実施することにより、外国人旅行者に接遇やサービスを提供できる人材を育成した。	観光課

(3) 地域の観光を支える人づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光未来 創造塾事業 (16,196千円)	<p>おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。</p> <p>○修了生 43名 (内訳)</p> <p>観光おもてなし入門コース 17名 観光ガイドコース(中級専攻) 11名 観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 3名 〃 (観光地域リーダー専攻) 11名 グローバルコース 1名</p>	観光課
観光振興・地域 活性化マネージャー 配置事業 (12,000千円)	<p>専門的な見地から観光振興事業等を検討・推進する観光振興・地域活性化マネージャーの黒部市への配置及びその活動について支援し、宇奈月温泉を活用した観光振興及び地域活性化を推進した。</p>	観光課
おもてなしタク シードライバー 養成事業 (313千円)	<p>質の高いおもてなしやきめ細やかなサービスを提供できる優れたタクシードライバーとして表彰されたおもてなし優良タクシードライバーを対象に、フォローアップ研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年2月21日、参加者20人</li> </ul> <p>また、コンベンションタクシーを担当するドライバーを主に対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、観光案内や接遇等、おもてなし力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年7月28日、8月3日・24日・25日</li> <li>・参加者45人</li> </ul>	観光課

(4) 旅行者の満足度を向上させる受入環境の整備・支援

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
宇奈月国際会館 運営費補助金 (19,500千円)	<p>本県を代表する観光地の一つである宇奈月温泉に立地するコンベンション施設「宇奈月国際会館」の運営費の一部を助成した。</p>	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業 (2,912千円)	<p>外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光案内標識（県事業） 改修件数 32件</li> <li>・外国語観光サイン整備（市町村補助事業） 補助件数 新規2件 改修6件</li> </ul>	観光課
旅館施設近代化 等促進事業 (31,438千円)	<p>宿泊施設が行う客室の増設やリニューアルなどの整備に対して融資（富山県商業サービス業活性化資金観光旅館施設整備枠融資制度）し、宿泊施設の誘客力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・融資件数 継続分 6件</li> </ul>	観光課
外国船入港に係 る歓迎セレモニ ーへの支援 (1,500千円)	<p>クルーズ船の歓迎機運の醸成により、継続的な寄港・さらなる寄港につなげるため、港湾振興会等が開催する入港歓迎式典等に係る費用の一部を助成した。</p>	地方創生推 進室
自然公園等整備 事業等 (55,407千円)	<p>わが国を代表する山岳公園「中部山岳国立公園」の主要利用拠点である、アルペンルート沿線や黒部峡谷において、安全で快適な利用を推進するために歩道や山岳トイレ等の整備を行い、観光客の利便性の向上などを図った。</p>	自然保護課
生活衛生関係営 業施設における 利用者サービス の向上に対する 支援 (641千円)	<p>旅館ホテルマップ及び飲食店マップを作成し、宿泊施設等に配置する事業及び社交飲食店が明朗会計であることをPRする卓上カレンダーを作成し、配置する事業に対し補助を行った。</p>	生活衛生課
有峰森林文化村 推進費 (49,069千円)	<p>豊かな森林を有し、多くの人々が訪れる風光明媚な有峰において、有峰森林文化村公園及び有峰ハウスの適切な管理運営を行い、利用者が安心して施設利用等ができるよう施設整備（保守点検）等に努めた。</p>	森林政策課
新幹線駅周辺花 いっぱいおもて なし事業 (2,700千円)	<p>県花であるチューリップや富山ゆかりのサクラ等で新幹線駅構内を華やかに彩り、花と緑による観光客のおもてなしを実施した。</p>	森林政策課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやまの名所再 発見標識整備事 業 (19,200千円)	新幹線開業を契機に本県のさらなる魅力をPRするため、観光スポット(隠れた名所)への案内標識を整備し、認知度の向上及び観光客の誘導を図った。 ・湾岸道路沿いの24施設	道路課
県立都市公園の 整備・改修 (562,466千円)	県民のみならず県外からの観光客にも多く利用される憩いの場やスポーツ・レクリエーションの場である県立都市公園の整備・改修を実施し、利用者の利便性向上などを図った。 ・実施内容 県民公園太閤山ランド(プール遊具更新等) 総合運動公園(クロスカントリーコース舗装更新等) 五福公園(野球場スタンド改修等) 岩瀬スポーツ公園(トイレ改修等) 常願寺川公園(トイレ改修等) 空港スポーツ緑地(陸上競技場側溝改修等) 富岩運河環水公園(駐車場施設改修等) 県庁前公園(外周改修等)	都市計画課
県立都市公園の 維持管理 (980,262千円)	県立都市公園の適正な維持管理に努め、利用者の安全と満足度の向上などを図った。 ・県立都市公園 富岩運河環水公園、県民公園 太閤山ランド、総合運動公園、常願寺川公園、県民公園 新港の森、岩瀬スポーツ公園、五福公園、空港スポーツ緑地、 県庁前公園	都市計画課 環境政策課

#### (5) 観光産業と他産業の連携による域内経済循環の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(公社)富山県観 光連盟運営費補 助金 (8,948千円)	富山県内における観光事業の健全な発展及び振興並びに地域の活性化に取り組む(公社)富山県観光連盟(現とやま観光推進機構)の運営に対し補助を行った。	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(一財)富山観光物産センター運営費等補助金 (25,894千円)	富山の観光情報や文化・特産品の発信拠点として富山の魅力を県内外に広くアピールする(一財)富山観光物産センターの運営に対し補助を行った。	観光課
(公社)日本観光振興協会負担金 (718千円)	(公社)日本観光振興協会への負担金の拠出により、観光旅行の安全の確保、利便性の向上などの同協会の事業に対し支援を行った。	観光課
地方創生宿泊施設支援補助金 (1,479千円)	県内事業者からホテル・旅館業を引き継ぐ中小企業に対し、県産の備品購入を一部補助。 補助件数 1件	観光課
とやま起業未来塾事業 (20,239千円)	「夢」「情熱」「志」を持った創業者、世界に羽ばたく企業人を育成する「とやま起業未来塾」を開講し、産業の活性化による活力ある県づくりを進めることにより、誘客促進等につなげた。 ・修了者数 23名	経営支援課
とやま伝統工芸ミラノ・トリエンナーレ国際展 出展事 (13,900千円)	本県の優れた伝統工芸品の海外販路開拓を支援するため、ミラノ・トリエンナーレの企画展「Design After Design」に出展し、とやまの伝統工芸をPRした。	経営支援課
とやま伝統工芸首都圏発信事業 (2,500千円)	新アンテナショップ「日本橋とやま館」において、富山県の伝統工芸品をPRする展示会を開催し、併せて商談会や芸術系大学の学生へのPRを実施し、伝統工芸品の販路拡大や後継者確保を支援した。	経営支援課
とやまの資源発掘ブラッシュアップ事業 (1,189千円)	地域資源(産地の技術、農林水産品、観光資源)を活用し、新商品や新サービス開発などの事業展開に取り組もうとしている中小企業及び、農林水産業や商工業等の枠を超えた連携による効果的な取組みの掘り起こしや、地域資源を活用する取組みの事業化へ向けたサポートを実施した。 (補助先:公益財団法人富山県新世紀産業機構) ・発掘実績 6件 ・ブラッシュアップ実績 12社 計32回	経営支援課

(6) 観光の担い手としての事業者・県民の意識醸成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
おもてなしブラッシュアップ事業 (一部再掲) (1,280千円)	<p>宿泊施設経営ブラッシュアップ事業</p> <p>第一線で活躍する実業家を講師として招へいし、経営戦略等についての講演を実施した。</p> <p>もっと「休んでかれ。」宣言事業</p> <p>富山おもてなしハンドブックを活用し、県民一丸となったおもてなし意識の醸成を図った。</p>	観光課
ハローとやま☆貼ろう事業 (1,744千円)	<p>富山県の観光ポスターを作成し、県内外の事業所や飲食店に掲示することにより、観光振興への地域の機運を醸成するとともに、観光客の誘致促進を図った。</p> <p>・作成部数 増刷 3,750部(5種類) 新作 750部(1種類)</p>	観光課
ふるさと魅力発見PR事業 (5,144千円)	<p>富山の自然、歴史や文化などを学ぶ検定「越中富山ふるさとチャレンジ」の実施により、県民がふるさと富山の魅力を再発見し、誇りをもって全国にPRする意識の醸成を図った。</p> <p>・受検者数 1,020名</p>	地域振興課
富山ふるさとマスター派遣事業 (1,029千円)	<p>学校、企業、地域住民、市町村等が開催するふるさとに関する研修会等に、越中富山ふるさとチャレンジ上級合格者等(富山ふるさとマスター)を講師として派遣することなどにより、ふるさとへの誇りや愛着を育む気運の醸成を図った。</p> <p>・富山ふるさとマスター登録者数 18人 ・派遣回数 43回</p>	地域振興課
NPO未来創生 県民協働事業 (4,815千円)	<p>県内のボランティア団体等が、新たな発想でとやまの未来を創生し、地域活性化を図る事業に対して、広く支援した。</p> <p>・補助件数 17件</p>	男女参画・ 県民協働課

## 2 広域観光の拠点化

### (1) 広域観光ハブ（交通結節点）としての優位性を活かした拠点整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
広域観光案内所 運営事業 (10,345千円)	新幹線駅など、県内5か所の広域観光案内所の運営に対し支援を行った。	観光課
訪日旅行・富山 旅行センター運 営事業 (8,700千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュ1名を富山駅構内に配置	観光課
富山駅前アンテ ナショップの整 備 (78,518千円)	いきいき物産富山店の新店舗整備等を支援し、県特産品等の魅力を強力に発信	観光課

### (2) 主要駅・空港と観光地を結ぶ二次交通の整備・利便性向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ぐるっと富山観 光地アクセス充 実事業 (21,596千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、県内の主要駅等を発着する観光路線バス、ツアーバスの運行経費の一部を助成した。 ・補助件数 観光路線バス 4件 ツアーバス 13件	観光課
乗りたくなる公 共交通推進事業 費 (1,731千円)	交通事業者等が実施するバスや軌道車両のイメージアップのための取組み（車両のラッピング など）を支援し、観光客の公共交通機関の利用促進を図った。 ・補助件数 3件	総合交通政策室
新幹線アクセス 路線バス等調 査・実証運行支 援事業費 (2,732千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、新幹線駅から並行在来線駅や県内観光地等を結ぶアクセス交通の運行事業に対し支援した。 ・補助件数 2件	総合交通政策室



事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山地鉄新幹線 二次交通活性化 事業 (37,883千円)	富山地鉄が実施する新幹線開業に合わせた積極的な誘客や利便性の向上に資する事業に対して、市町村と連携して支援した。 ・主な事業 駅施設の環境改善 アテンダントの配置、列車増発の社会実験 観光プロモーション 等	総合交通政策室
地域交通ネットワーク連携強化 事業 (2,999千円)	北陸新幹線を利用して本県を訪れる県外旅行者等に対し、公共交通機関を利用した県内周遊を促すため、県内2エリア（中央・東部）の企画きっぷを販売した。	総合交通政策室
富山空港利用促進 事業 (51千円)	富山空港を利用するインバウンド旅行の実施旅行会社に対して国内移動のためのバス経費を助成し、富山空港を利用した広域観光の推進を図った。 ・補助件数 国際線 1件（1台）	総合交通政策室

### (3) 広域観光の拠点としての賑わい創出・魅力向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
環水公園等賑わい空間創出事業 (19,200千円)	富岩運河環水公園において四季折々のイベントなどを開催し、環水公園を中心とする富山駅周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。 ・「夏まつり」「スイートクリスマス」「ウインターファンタジア」での音楽花火のショーや水辺のコンサートなどのアーティスティックなイベントの実施 ・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など	観光課
学習支援船の運航事業 (5,000千円)	富岩運河を活用した学習支援船（富岩水上ライン）の運航により、運河の歴史や水辺環境の学習を支援するとともに、富岩運河の魅力向上や活力ある地域づくりの促進を図った。	観光課
富岩水上ライン利用促進事業 (4,359千円)	富岩水上ラインの利便性向上や魅力発信などにより、利用促進を図った。 ・リーフレット・ポスター作成 ・7周年記念イベントの開催 など	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山駅並行在来線高架下開発調整調査費 (1,391円)	あいの風とやま鉄道富山駅高架下開発検討委員会を設置し、県都の玄関口である富山駅が、富山らしく魅力的で賑やかな場となるよう、当該高架下開発の方向性を取りまとめた。	総合交通政策室

### 3 富山らしい魅力創出：量から質への転換を促進

#### (1) 世界水準の観光資源「世界遺産五箇山」「立山黒部」の高付加価値化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
『立山黒部』の 保全と利用を考 える検討会」開 催事業 (11,507千円)	今後ますます増加が見込まれる訪日外国人旅行者等にも満足していただけるよう、「立山黒部」の世界ブランド化に向け、有識者による検討会を開催し、今後、検討を進めるべき28のプロジェクトを取りまとめた。 ・実施回数 3回(富山開催2回、東京開催1回)	観光課
観光地区開発事 業費 (1,345千円)	世界文化遺産に指定されており、本県の貴重な観光資源である五箇山地区の合掌造り家屋の茅葺屋根葺き替え等に係る経費の一部を助成し、合掌造りの建物の保全・整備を図った。 ・補助件数 1件	観光課
立山黒部アルペ ンルート除雪事 業 (12,000千円)	本県の代表的な観光地であり、長野県との広域観光にも大きな役割を果たす立山黒部アルペンルートの早期全線開通を図るため、立山ルート除雪組合が実施する除雪事業に対して助成した。	観光課
立山山麓レクリ エーション地区 整備推進事業負 担金 (313千円)	立山黒部アルペンルートの入口に位置する立山山麓地区の魅力を広く発信し、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成や旅行会社等への宣伝活動の展開 ・標識や案内看板等の整備 など	観光課
観光地活性化モ デル事業 (3,000千円)	宇奈月温泉地域の関係者で構成する「黒部市観光事業活性化委員会」が実施する観光地活性化のためのモデル的な取組みを支援し、宇奈月温泉を活用した滞在型観光の推進を図った。 ・事業主体 黒部市観光事業活性化委員会 ・主な事業内容 湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月の開催 SPA マラソン in うなづきの開催 等	観光課
世界遺産登録推 進事業 (6,500千円)	「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録を推進するため、民間団体が行う事業やイベントを支援し、県民意識醸成と観光振興を図った。 ・各種啓発活動や講演会、現地見学会の開催等	知事政策局

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山博物館管理運営費 (209,340千円)	立山の雄大な自然と、それに育まれた立山信仰などの歴史や文化を紹介する立山博物館において、2回の企画展の開催等により、観光客を含め、立山の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
立山カルデラ砂防博物館管理運営費 (125,529千円)	立山カルデラの自然・歴史や、100余年にわたり続けられている日本屈指の砂防事業について広く紹介する立山カルデラ砂防博物館において、年間を通じて常設展や企画展等を実施した。 博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然、歴史、砂防事業について深く理解できる体験学習会（5種類のコースで32回、904人参加）を実施し、県内外の参加者にPRを行った。	砂防課

## (2) 世界で最も美しい富山湾の魅力を活かした観光資源の発掘・磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山湾岸・田園サイクリング活用推進事業 (2,950千円)	サイクリングを通じた富山湾の魅力発信・誘客促進のため、富山湾岸サイクリングコースを活用したイベントの開催や、サイクリングMAPの改訂等を実施した。	地方創生推進室
台湾メディアモニターツアー誘致事業 (2,226千円)	サイクリングイベントの開催に合わせて、台湾等の海外メディア等を招へいし、イベントの様子や県内サイクリング環境を取材・発信してもらうことにより、国内外からのサイクリストの誘客を図った。	地方創生推進室
サイクリングツアーガイド育成事業 (3,825千円)	国内外からのサイクリングツアーの実現に不可欠なサイクリングツアーガイドの育成を支援することにより、海外を中心としたサイクリストの受入態勢を整え、ツアー実施の実現性を高めた。	地方創生推進室
富山湾マリンスポーツ誘客プロモーション事業 (3,500千円)	富山湾におけるマリンスポーツの振興を図るため、マリンスポーツ関係者によるモニターツアーを実施し、昨年度商品化されたダイビングに加え、富山湾でのフライボード、ヨット等の新たなマリンスポーツの魅力を発信するとともに、旅行会社と協働して、これらを活用した観光商品の造成につなげた。	地方創生推進室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「世界で最も美しい富山湾」普及活用事業 (3,920千円)	民間による富山湾応援組織「美しい富山湾クラブ」に補助したほか、富山湾パンフレット・クリアファイル等の配布や「富山湾の魅力体験親子教室」の開催を通して、富山湾の魅力の県内外・国内外への発信につなげた。	地方創生推進室
富山湾魅力映像発信事業 (1,000千円)	県外のマリンスポーツ愛好家等に対し、マリンスポーツを中心とした富山湾の魅力イベントでの上映やホームページでの配信等を通じて幅広く発信できるよう、PR映像を制作した。	地方創生推進室
自家用船舶オーナー誘致促進事業 (5,889千円)	県外船舶オーナー向け誘致ツアーの実施や国内最大のボートショー「ジャパンインターナショナルボートショー2017」等でのPRにより、新湊マリーナへの船舶オーナー誘致を図った。	地方創生推進室
環日本海クルーズ推進協議会負担金 (1,000千円)	小樽港、秋田・船川・能代港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港が運営する「環日本海クルーズ推進協議会」と連携し、環日本海クルーズの推進を図った。 ・海外船社幹部の招聘 ・クルーズ見本市への共同出展（米国）等	地方創生推進室
サイクリングコース整備事業 (72,500千円)	立山連峰のパノラマ風景や沿線地域の観光施設を楽しんでもらえるよう、富山平野の眺望のよい道路をコースに設定した田園サイクリングコースを整備した。 ・ナビゲーターライン(ブルーライン)の整備 ・コース分岐点路面表示の設置	道路課
海王丸保存活用事業 (86,694千円)	文化的価値の高い帆船海王丸を永く保存し、海王丸パークで公開するとともに、総帆展帆や海洋教室、カッター・セイリング教室などにより、海、船、港への関心を高め、観光振興につなげた。	港湾課

(3) 豊かな食の磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
冬の誘客強化事業 (14,772千円)	<p>冬は、旅行者が他の季節に比べ少なくなる傾向にあるため、本県の強みである富山湾鮭などの「食」を中心にプロモーションを強化し、旅行先としての認知度の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏 JR 路線、関西 JR・阪急電車等で富山湾鮭の中吊り広告を実施</li> <li>・首都圏 JR 駅で業務枠を活用した駅貼りポスターの実施</li> <li>・大阪駅で観光 PR イベントを実施</li> </ul>	観光課
「越中料理」推進事業 (1,800千円)	<p>新鮮で多彩な食材や豊かな食文化を活かした富山ならではの「越中料理」の魅力を県内外に発信することにより、観光振興、交流人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブサイト「おもてなし『越中料理』」の充実</li> <li>・タペストリーの作成、越中料理提供店への配付</li> <li>・創作「越中料理」キャンペーンの実施</li> </ul>	地域振興課
とやまブランド全国発信支援事業 (1,000千円)	<p>業界の枠を超えた複数の業種等で構成された民間グループが実施する、商品等の認知度向上及び富山の地域イメージ確立を図るイベントの開催を支援し、とやまブランドの全国ブランド化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山の酒とかまぼこフェア 日時 平成 28 年 9 月 11 日 場所 東京交通会館</li> </ul>	地域振興課
イタリア料理食材販路開拓支援事業費 (5,359千円)	<p>日本イタリア料理協会主催のイタリア料理イベントの開催を支援し、本県の多彩な食材や県産品の魅力発信と販路開拓を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イタリア料理展示会「ACCI in 富山」 日時 平成 28 年 8 月 1 日・2 日 場所 テクノホール富山産業展示館</li> </ul>	地域振興課
地産地消の推進 (9,268千円)	<p>ポイント制度の実施など、県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とやまの旬」応援団の募集(4,458名)と活動支援</li> <li>・県産品購入ポイント制度の実施 (約1万7千件の応募)</li> </ul>	農林水産企画課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「とやま食の匠」の認定・普及 (322 千円)	富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理において、卓越した知識や技能を有し、普及活動を積極的に行える個人や団体を「とやま食の匠」として認定し、とやまの食の魅力を県内外に発信した。 ・新規認定 6 個人・団体 (計 159 個人・団体) ・講師派遣 40 回	農産食品課
首都圏等での「食のとやまブランド」PR (5,633 千円)	大消費地である首都圏等において、食のイベント等を開催し、富山の食の魅力をアピールした。 ・首都圏等のホテル・レストランと連携した食のフェアの開催 ・「越中富山うまいもんフェア」(名古屋)の開催	農産食品課
富山米のブランド力向上 (12,240 千円)	首都圏等での富山米販売促進キャンペーンや消費拡大のためのPRなどにより、美味しい富山米のPRとブランド力向上を図った。 ・「ほおぼる幸せ。富山米フェア」の開催 (平成 28 年 10 月 15 日) 有楽町駅前広場	農産食品課
「富のおもちかえり」販路拡大事業 (2,340 千円)	本県の農林水産品を活用したお土産品「富のおもちかえり」の販路拡大を目指し、県内外でのPR活動を行った。	農産食品課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (9,000 千円)	「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。 ・秋の陣(富山産業展示館、平成 28 年 10 月 29 日～30 日) 県内外から約 27,000 人が来場 ・冬の陣(黒部市内、平成 29 年 2 月 4 日) 「越中料理と地酒を楽しむ会」 県内外から 228 人が参加(うち県外から 75 人参加)	農産食品課
ふるさと認証食品(Eマーク)制度の普及 (415 千円)	県内の良質な農林水産加工食品について、一定基準を満たす食品を「富山県ふるさと認証食品(Eマーク)」として認証し、県産特産品のイメージアップと有利販売を図った。 ・19 商品を新規に認証、延べ 313 商品	農産食品課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「富山のさかな・水産加工品」 ブランド化推進事業 (1,348千円)	県産水産物が県内外の消費者から高い評価を得る「第一級の魚ブランド」としての地位の確立を図るため、その魅力の周知及び消費拡大のためのPR活動を展開した。 ・キャンペーン協力店の募集、既存店のフォロー ・ホームページを活用した情報発信 ・「富山のさかな」おもてなしフェアの開催 (平成29年2月8日 サザンキャピトルホテル東急(東京)) ・「うまさ一番 富山のさかな」商談会の開催 (平成29年2月8日 日本橋とやま館、サザンキャピトルホテル東急(東京)) ・「富山のさかな」PR in 軽井沢の実施 (平成28年11月3日～6日 軽井沢・プリンスショッピングプラザでのイベントの開催) など	水産漁港課

**(4) 伝統文化、工芸品等上質な富山を提供する観光商品の開発**

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
歴史と文化が薫るまちづくり事業 (49,293千円)	歴史的・文化的な地域資源を活用した地域づくりを推進するため、モデル地域を選定し、推進計画の策定や同計画に基づいて実施するまちづくり事業に対して支援し、観光振興や地域の活性化を図った。 ・鰻絵と街道がつなぐ過去・現在・未来(射水市) ・万葉の風土に寺内町の風情があふれ、みなと町の香り漂う歴史と文化のまち(高岡市) ・棟方志功が暮らした「福光」、巴御前終焉の地「福満」まちづくり(南砺市) ほかに2件	地域振興課



事業名 (事業費)	実施状況	担当課
まちの未来創造 モデル事業 (37,006 千円)	<p>地域資源を活用した住民主体の地域づくりを推進するため、モデル地域を選定し、まちづくり計画に基づいて実施するまちづくり事業に対して支援し、観光振興や地域の活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史と伝統を守り、繋ぎ、交流と賑わいを育むまち（高岡市）</li> <li>・燈火（ともしび）のうつくしい山の温泉（ゆ）の町（黒部市）</li> <li>・まちの景観とともに歴史・伝統文化と人に出会うまち（射水市）</li> </ul>	地域振興課
「富山県推奨とやまブランド」 推進事業 (11,042 千円)	<p>「富山県推奨とやまブランド」の魅力を、県内外に発信することにより、県産品の知名度の向上や本県のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2品目2事業者を新たに認定</li> <li>・認定品を紹介するパンフレット、PR映像を制作</li> <li>・日本橋とやま館において展示・販売イベントを実施</li> </ul>	地域振興課
「明日のとやまブランド」育成 支援事業 (3,536 千円)	<p>事業者がブランド関係の専門家から助言、指導を受ける取組み等を支援することにより、新たな「とやまブランド」の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6品目6事業者を新たに選定</li> <li>・補助件数 10件</li> </ul>	地域振興課
地域文化力向上・活性化支援 事業 (4,000 千円)	<p>県内団体が取り組む特色ある文化事業を支援し、地域の文化力の向上や文化を活かした地域活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助件数 9件</li> </ul>	文化振興課
内山邸文化の魅力 再生事業 (2,700 千円)	<p>平成10年に国登録有形文化財に登録された内山邸において、利用促進のための魅力発信事業を実施した。</p>	文化振興課
富山のデザイン 発信力強化事業 (1,953 千円)	<p>「越中富山 幸のこわけ」に続くお土産ブランドとして、富山の素材と技を活かした小皿など工芸品ブランドの商品開発、PRを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド名「越中富山 技のこわけ」</li> <li>・商品数 10企業 23商品</li> </ul>	商工企画課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま中小企業 チャレンジファ ンド ビジター 対応ビジネス支 援事業 (10,970 千円)	北陸新幹線開業、外航クルーズ船寄港、富山ー台北便 増便等交通基盤の拡充に関連した新商品・新サービスの 開発に係る事業や、国内外の観光客等への対応に係る事 業を支援した。 ・採択件数 13 件	経営支援課
とやま新事業創 造基金 地域資 源ファンド事業 (48,360 千円)	中小企業者が取り組む、富山ならではの地域資源（産 地の技術、農林水産物、観光資源）を活用した新商品開 発・販路開拓等に対して、資金の支援を実施し、魅力あ る特産品の開発・普及を図った。 ・実施件数 13 件	経営支援課
とやま新事業創 造基金 農商工 連携ファンド事 業 (76,440 千円)	中小企業者と農林漁業者とが連携して行う新商品開 発・販路開拓等に対して、資金の支援を実施し、魅力あ る特産品の開発・普及を図った。 ・実施件数 15 件	経営支援課
「べつばら富 山」販売促進事 業 (999 千円)	首都圏や富山県内において展示・販売、商談会等を実 施し、PRを図った。 ・商品数 22 商品	商業まちづ くり課
地産地消の推進 (再掲) (9,268 千円)	ポイント制度の実施など、県民ぐるみで県産品を大き く育てる地産地消運動を展開した。 ・「とやまの旬」応援団の募集（4,458 名）と活動支援 ・県産品購入ポイント制度の実施 (約 1 万 7 千件の応募)	農林水産企 画課

#### (5) 産業観光、ロケ地、スポーツ等多様なツーリズムの展開

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
産業観光魅力創 出促進事業 (2,102 千円)	産業観光に取り組む県内企業の受入体制整備を促進 し、産業観光の魅力アップを図るため、県内企業が行う 受入体制整備に対する所要経費の一部を助成した。 ・補助件数 6 件	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
教育旅行誘致促進事業 (1,994千円)	北陸新幹線の開業により首都圏からの所要時間が短くなったことから、東京で首都圏旅行会社教育旅行担当者を集めた北陸三県修学旅行フェアを行った。富山県教育旅行ガイドブックを改定した。また、旅行会社の招聘・出向宣伝を行い、富山県への教育旅行を学校へ提案してもらえるよう働きかけた。	観光課
プロスポーツチーム地域活性化事業 (4,500千円)	プロスポーツチームの運営会社が取り組む地域活性化に資する事業を支援し、地域活性化及び観光振興を図った。 ・補助実績 3団体 ・主な事業内容 ホームゲームでの県民参加型イベントの実施	知事政策局
マラソン大会開催事業 (85,720千円)	北陸新幹線開業を機に県民総参加によるスポーツ振興や富山の魅力創造、交流人口の拡大を図るため、「富山マラソン2016」の開催を支援した。 ・富山マラソン実行委員会等の開催 ・富山マラソン2016の開催(13,018名出走)など	知事政策局
第26回世界少年野球大会富山大会の開催 (20,000千円)	県西部6市(高岡市、射水市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市)で、野球教室や交流試合、交流行事を実施し、スポーツ振興や観光振興を図った。 ・開催期間 平成28年8月17日～25日 ・会場 高岡西部総合公園野球場を主会場に県西部6市で実施 ・参加者 約350名 ・交流行事の内容 郷土芸能、漁村文化体験、世界遺産五箇山合掌造り集落内見学、スポーツ体験等	知事政策局
とやま夏期大学の開催 (4,000千円)	富山県の雄大で美しい自然の中で、質の高い学びと楽しみの場を提供する「とやま夏期大学」を開催し、自然、歴史文化、食など本県の様々な魅力を知るきっかけとして、今後の観光振興や交流人口の拡大を図った。 ・開催期間 平成28年8月5日～8月8日 ・開催地 立山国際ホテル	地域振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山湾岸・田園サイクリング活用推進事業(再掲) (2,950千円)	サイクリングを通じた富山湾の魅力発信・誘客促進のため、富山湾岸サイクリングコースを活用したイベントの開催や、サイクリングMAPの改訂等を実施した。	地方創生推進室
台湾メディアモニターツアー誘致事業(再掲) (2,226千円)	サイクリングイベントの開催に合わせて、台湾等の海外メディア等を招へいし、イベントの様子や県内サイクリング環境を取材・発信してもらうことにより、国内外からのサイクリストの誘客を図った。	地方創生推進室
サイクリングツアーガイド育成事業(再掲) (3,825千円)	国内外からのサイクリングツアーの実現に不可欠なサイクリングツアーガイドの育成を支援することにより、海外を中心としたサイクリストの受入態勢を整え、ツアー実施の実現性を高めた。	地方創生推進室
富山湾マリンスポーツ誘客プロモーション事業(再掲) (3,500千円)	富山湾におけるマリンスポーツの振興を図るため、マリンスポーツ関係者によるモニターツアーを実施し、昨年度商品化されたダイビングに加え、富山湾でのフライボード、ヨット等の新たなマリンスポーツの魅力を発信するとともに、旅行会社と協働して、これらを活用した観光商品の造成につなげた。	地方創生推進室
「世界で最も美しい富山湾」普及活用事業(再掲) (3,920千円)	民間による富山湾応援組織「美しい富山湾クラブ」に補助したほか、富山湾パンフレット・クリアファイル等の配布や「富山湾の魅力体験親子教室」の開催を通して、富山湾の魅力の県内外・国内外への発信につなげた。	地方創生推進室
富山湾魅力映像発信事業(再掲) (1,000千円)	県外のマリンスポーツ愛好家等に対し、マリンスポーツを中心とした富山湾の魅力をイベントでの上映やホームページでの配信等を通じて幅広く発信できるよう、PR映像を制作した。	地方創生推進室
近代美術館管理運営費 (198,470千円)	20世紀初頭から現在にいたる美術の流れを、世界・日本・富山の3つの視点から展望する近代美術館において、常設展や企画展(4回)の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
水墨美術館管理 運営費 (148,762千円)	水墨画など特色のある日本文化の美を広く紹介する水墨美術館において、常設展や企画展（7回）の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
高志の国文学館 管理運営費 (250,457千円)	県民のみならず県外からの観光客にとって、富山県ゆかりの文学に親しみ学ぶ拠点となる高志の国文学館において、企画展や講演会の開催のほか、ふるさと文学振興のための普及啓発事業等を実施した。 ・企画展（5回） ・ふるさと文学県民講座等の開催（16回）	文化振興課
世界的舞台芸術 拠点づくり推進 費 (122,511千円)	「舞台芸術特区TOGA」における世界的な舞台芸術拠点づくりの推進により、質の高い芸術文化を創造・発信するとともに、交流人口の拡大を図った。 ・世界演劇祭「利賀サマー・シーズン2016」の開催 ・国際的な舞台芸術人材育成、青少年への普及・教育	文化振興課
イタイイタイ病 資料館管理運営 費 (48,113千円)	イタイイタイ病に関する貴重な資料を収集・保管し、施設展示や情報発信を通じて、その教訓等を後世に継承するための事業を実施した。 ・語り部講話、県民フォーラム、特別企画展 ・小学生を対象とした現地ツアー、研究講座 ・資料の収集及び保管 等	健康課
とやま中小企業 チャレンジファ ンド ビジター 対応ビジネス支 援事業 (10,970千円)	北陸新幹線開業、外航クルーズ船寄港、富山ー台北便増便等交通基盤の拡充に関連した新商品・新サービスの開発に係る事業や、国内外の観光客等への対応に係る事業を支援した。 ・採択件数 13件	経営支援課
とやま帰農塾推 進事業 (6,181千円)	「豊かな自然に囲まれた田舎暮らし」に興味や憧れを持つ都市住民を、自然に恵まれた本県の農山漁村に受講生として迎え、農林水産業や伝統文化体験を盛り込んだ滞在型グリーン・ツーリズム「とやま帰農塾」を開講し、都市と農村との交流人口の拡大、農村への定着、観光の振興を図った。 ・とやま帰農塾の開講（9市町12ヶ所 全12講座） ・三大都市圏等へのPR	農村振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
サイクリングコース整備事業 (再掲)  (72,500千円)	立山連峰のパノラマ風景や沿線地域の観光施設を楽しんでもらえるよう、富山平野の眺望のよい道路をコースに設定した田園サイクリングコースを整備した。 ・ナビゲーターライン(ブルーライン)の整備 ・コース分岐点路面表示の設置	道路課
うるおいある景観づくり推進事業費  (7,639千円)	地域の歴史や文化などを活かした個性豊かな景観を守り育てるとともに、観光振興の視点にも立った良好な景観づくりを推進した。 ・「景観づくりフォーラム2016」の実施 ・景観づくり顕彰「うるおい環境とやま賞」の表彰 ・景観づくり住民協定推進事業等に対する支援 ・ふるさと眺望点(30地点)の普及啓発 ・景観アドバイザーの派遣 ・「立山・大山地区景観づくり重点地域」届出制度の実施	建築住宅課

#### (6) 冬季の魅力創出による通年観光の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
冬の富山周遊キャンペーン事業  (272千円)	北陸新幹線(新高岡駅・黒部宇奈月温泉駅間)を利用する観光客(宇奈月温泉宿泊者)の新幹線駅から観光地への交通運賃を無料化し、北陸新幹線の利用促進及び県内周遊の促進を図った。	観光課
環水公園等賑わい空間創出事業 (再掲)  (19,200千円)	富岩運河環水公園において四季折々のイベントなどを開催し、環水公園を中心とする富山駅周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。 ・「夏まつり」「スイートクリスマス」「ウインターファンタジア」での音楽花火のショーや水辺のコンサートなどのアーティスティックなイベントの実施 ・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (再掲) (9,000千円)	「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。 ・秋の陣(富山産業展示館、平成28年10月29日～30日) 県内外から約27,000人が来場 ・冬の陣(黒部市内、平成29年2月4日) 「越中料理と地酒を楽しむ会」には、県内外から228人が参加(うち県外から75人参加)	農産食品課
「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業 (再掲) (21,348千円)	県産水産物が県内外の消費者から高い評価を得る「第一級の魚ブランド」としての地位の確立を図るため、その魅力の周知及び消費拡大のためのPR活動を展開した。 ・キャンペーン協力店の募集、既存店のフォロー ・ホームページを活用した情報発信 ・「富山のさかな」おもてなしフェアの開催 (平成29年2月8日 サ・キャピトルホテル東急(東京)) ・「うまさ一番 富山のさかな」商談会の開催 (平成29年2月8日 日本橋とやま館、サ・キャピトルホテル東急(東京)) ・「富山のさかな」PR in 軽井沢の実施 (平成28年11月3日～6日 軽井沢・プリンスショッピングプラザでのイベントの開催) など	水産漁港課

## 4 戦略的なプロモーション

### (1) 「海のあるスイス」のイメージ醸成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山黒部観光宣伝協議会負担金 (500 千円)	富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・三大都市圏におけるPR等の宣伝活動 など	観光課
観光季刊誌「ねまるちゃ」発刊事業 (23,000 千円)	旬の観光情報や食・体験・イベント等をPRする観光情報誌「ねまるちゃ」を発行し、JR首都圏各駅に配架するなど大都市を中心に「富山ならではの」魅力を強力に発信した。	観光課
ツーリズム EXPO ジャパン出展事業 (8,896 千円)	全国の旅行会社、海外バイヤー、旅に興味のある多数の一般来場者が集うアジア最大級の旅行博に出展し、本県の世界クラスの観光素材を売り込むことにより、誘客を促進した。 ・東京ビッグサイト（平成28年9月22日～25日）	観光課

### (2) ターゲットの特性に応じ、リピーターや定住をも意識した効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「いきいき富山館」管理運営事業 (46,455 千円)	東京アンテナショップ「いきいき富山館」の催事コーナーでの実演販売や、館外での観光・物産キャンペーン等を開催して、本県の物産・観光の魅力を首都圏に情報発信した。 ・各種特産品フェア、実演・試食販売 ・企業での特産品販売、物産観光展への出展など	観光課
富山県の物産と観光展の開催 (30,029 千円)	東北及び大都市圏において、「富山県の物産と観光展」を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。 ・仙台（平成28年11月18日～20日） JR仙台駅 ・東京（平成29年2月2日～2月8日） 東急吉祥寺店 ・名古屋（平成29年2月17日～22日） 丸栄栄店	観光課



事業名 (事業費)	実施状況	担当課
北海道における 富山県の物産と 観光の紹介事業 (3,000千円)	北海道富山会館において、本県の物産の展示、紹介及び観光宣伝等を実施し、本県への誘客や特産品販売の拡大を図った。	観光課
観光パンフレット等作成 (5,989千円)	県内の主要な観光資源と地図情報をあわせて紹介する「とやま観光MAP」を作成・配布し、誘客を図った。	観光課
「パノラマ・キット富山」新聞発 行事業費 (3,500千円)	首都圏を中心に発行する「パノラマ・キット富山」新聞の制作を支援し、首都圏等からの観光誘客の促進や本県の認知度向上を図った。 ・発行回数 1回 (H28年4月発行) ・発行部数 135万部 ・発行地域 首都圏、富山県、石川県	観光課
観光ホームページ等更新事業補助金 (1,200千円)	富山県観光ホームページ「とやま観光ナビ」の内容の充実等により、富山県の魅力を国内外にPRし、観光誘客の促進を図った。 ・観光ホームページのサーバー運営管理 ・既存ページの修正・情報追加 ・セキュリティ対策 など	観光課
観光キャンペーン負担金、観光振興事業補助金 (33,222千円)	(公社)富山県観光連盟(現 とやま観光推進機構)が実施する誘致宣伝・普及活動や観光振興の事業等に対し、負担金及び補助金を交付した。 ・一般消費者向け観光PR事業 (新聞、雑誌、ラジオ等による情報発信 など) ・旅行会社向け観光PR事業 (出向宣伝、観光説明会 など) ・観光PR資料作成事業 (各種観光情報誌の発行 など)	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「とやまスタイル」体験推進事業 (11,168 千円)	<p>「とやまファン(リピーター)」の獲得、「選ばれ続ける観光地」を目指すため、富山ならではの「上質なライフスタイル」の魅力を体験できる機会を創出し、誘客の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J R 東日本「大人の休日倶楽部・趣味の会」との連携による「富山の魅力を学ぶ講座」の実施</li> <li>・ モニターツアーの実施</li> <li>・ J R 大宮駅での富山産直市の実施</li> <li>・ 首都圏のホテル・レストランでの「富山フェア」の実施</li> </ul>	観光課
観光季刊誌「ねまるちゃ」発刊事業 (再掲) (23,000 千円)	<p>旬の観光情報や食・体験・イベント等を P R する観光情報誌「ねまるちゃ」を発行し、J R 首都圏各駅に配架するなど大都市を中心に「富山ならではの」魅力を強力に発信した。</p>	観光課
首都圏情報発信拠点運営事業費 (109,155 千円)	<p>物販に加え、飲食の機能や観光・定住・U I J ターン情報の提供等の機能を有する新首都圏情報発信拠点「日本橋とやま館」を6月に開設し、上質なライフスタイルを発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H28 年度来館者数：約 27 万 6 千人</li> <li>・ 〃 売上げ：約 2 億 4,900 万円</li> </ul>	地域振興課
首都圏とやまの魅力発信事業 (37,423 千円)	<p>日本橋とやま館を活用し、館主催及び県内市町村、県庁内各課との共催イベントの開催や本県の魅力を紹介するフリーペーパーの発行、スタンプラリーや地域イベントへの参加など、本県独自の魅力について情報発信を行った。</p>	地域振興課
首都圏観光・定住促進事業 (13,000 千円)	<p>日本橋とやま館において、観光・定住に関する相談及び情報提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H28 年度相談対応：延べ約 3 万人</li> </ul>	地域振興課
首都圏販路開拓推進事業 (38,455 千円)	<p>日本橋とやま館で販売する商品の追加公募の実施、県内事業者とバイヤーとのマッチング会や県産品フェアの開催、顧客・首都圏の消費者のニーズ調査など、県産品の販路開拓を促進した。</p>	地域振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
羽田エアポート アドビジョン富 山県PR事業 (3,596千円)	羽田空港国内線第2旅客ターミナルビル地下1階のデジタルサイネージを活用して、富山県内のイベントや観光地を紹介する映像を放映し、首都圏での本県の認知度向上、イメージアップ及び誘客促進を図った。 ・ほぼ月替わりで3種類の画像を放映	広報課
トヤマ・ジャスト・ナウ (2,396千円)	県内のイベントや観光、特産品等の旬の情報をホームページ「トヤマ・ジャスト・ナウ」に掲載するとともに更新情報をメールマガジンで配信し、富山の最新情報をタイムリーに情報発信した。 ・毎週水曜日に1つの記事をホームページ、メールマガジンで配信 ・約7,500人に配信（平成29年3月現在）	広報課
元気とやま応援 寄附金 (2,502千円)	一定額以上のふるさと納税（寄附）者に対し、県特産品等を贈呈することにより、特産品や観光資源のPRを行った。 ・リーフレットの作成、配布 ・HPでのPR ・寄附金額に応じ、地酒、ほたるいか詰合せ等を贈呈 【H28年度：申込者数 271人、申込金額 6,890千円】	税務課
富山くすりフェア 開催事業 (2,000千円)	平成29年3月9日～11日まで、東京駅丸の内南口前のJPタワーKITTEにおいて、「富山のくすり」の歴史や医薬品産業の現状を紹介する展示を行い、首都圏に向けて「富山のくすり」の魅力を発信した。	くすり政策課
「富山のくすり」 販路拡大事業 (800千円)	(一社)富山県薬業連合会が日本橋とやま館において開催した「出会いが効く越中富山くすりフェア」及び名古屋丸栄百貨店での県物産展へのくすりブース出展を支援し、大都市圏において「富山のくすり」の魅力を発信した。 日時：①平成28年10月3日～10月9日 ②平成29年2月17日～2月22日 場所：①日本橋とやま館（東京都） ②名古屋丸栄百貨店（愛知県）	くすり政策課

(3) 交通事業者、大手旅行会社、近隣自治体等と連携したプロモーション

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
JRタイアップ富山旅行定着促進事業 (29,954千円)	JR各社とのタイアップによる広告宣伝等を展開し、北陸新幹線の開業効果の持続並びに誘客促進を図った。 <b>【首都圏・新幹線沿線地域でのタイアップ(JR東日本)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・びゅう旅行商品「富山とりっぷ」の造成 首都圏・長野・南東北発着商品として年4回展開</li> </ul> <b>【関西圏・中京圏でのタイアップ(JR西日本・東海)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大手旅行会社における旅行商品の造成促進</li> </ul>	観光課
「とやまスタイル」体験推進事業 (再掲) (11,168千円)	「とやまファン(リピーター)」の獲得、「選ばれ続ける観光地」を目指すため、富山ならではの「上質なライフスタイル」の魅力を体験できる機会を創出し、誘客の促進を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR東日本「大人の休日倶楽部・趣味の会」との連携による「富山の魅力を学ぶ講座」の実施</li> <li>・モニターツアーの実施</li> <li>・JR大宮駅での富山産直市の実施</li> <li>・首都圏のホテル・レストランでの「富山フェア」の実施</li> </ul>	観光課
北陸アフターDC誘客促進事業 (10,000千円)	北陸三県とJR西日本が連携し、「北陸アフターDC」(平成28年10月～11月)を展開した。 <b>【アフターDC期間における主な成果】</b> (H27年度(北陸新幹線開業前)比) <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇奈月温泉宿泊者数 123.5%</li> <li>・富岩水上ライン乗船者数 237.0%</li> <li>・国宝瑞龍寺 134.5%</li> </ul>	観光課
北陸三県誘客促進連携協議会負担金 (3,000千円)	北陸三県及びJR西日本と連携し、「北陸アフターDC」(平成28年10月～11月)や「ジャパニーズ・ビューティー・ホクリクキャンペーン」(平成28年12月～平成29年3月)を中心に北陸新幹線開業効果の持続および誘客促進を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社店舗社員・レジャー記者招聘</li> <li>・大都市圏での観光素材説明会開催</li> <li>・観光情報誌「北陸物語」の発行 など</li> </ul>	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
北陸広域観光推進 協議会負担金 (2,500千円)	北陸への観光誘客拡大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟などからなる協議会を組織し、連携を図りながら、観光キャンペーン及び観光情報の発信を行った。 ・北陸の観光パンフレット・マップの作成 ・北陸三県観光連盟との共同宣伝事業など	観光課
富山県・飛騨地域 連携誘客促進事業 費補助金 (10,300千円)	富山・飛騨地域間の広域観光周遊ルートを形成するため、岐阜県と連携し、富山県と飛騨地域の資源を活かしたPR等を行い、周遊観光の促進を図った。 ・体験型プログラム造成・PR ・高速道路定額プランによる周遊促進 ・旅行商品造成支援 ・ツアーバス運行支援	観光課
飛越能経済産業観 光都市懇談会負担 金 (100千円)	飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。 ・「移動＋宿泊＋レンタカー」がセットになった旅行商品を造成・販売 ・イベント相互交流事業 など	観光課
(公社)日本観光 振興協会観光情報 システム負担金 (200千円)	(公社)日本観光振興協会へのシステム負担金の拠出により、自治体や市町村観光協会等が情報の更新を行う国内旅行ポータルサイト「全国観るなび」及び同更新システムの運営を支援した。	観光課
「ぶり・ノーベル 街道ウォーク」負 担金 (1,000千円)	ノーベル賞受賞者ゆかりの地をむすぶ国道41号沿線地域(ノーベル街道)のウォーキングを通じて、その魅力を体感してもらう「ぶり・ノーベル街道ウォークツアー2016」(富山市2回、飛騨市1回)を開催し、ノーベル街道を中心とする広域観光の振興を図った。	観光課
冬の富山周遊キャ ンペーン事業(再 掲) (272千円)	北陸新幹線(新高岡駅・黒部宇奈月温泉駅間)を利用する観光客(宇奈月温泉宿泊者)の新幹線駅から観光地への交通運賃を無料化し、北陸新幹線の利用促進及び県内周遊の促進を図った。	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
飛越地域等との交流推進事業 (536千円)	飛越地域の自然文化等の優れた地域資源を活かしながら地域振興を図る「日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会」において、この地域の交流と連携を推進するとともに、自然をはじめ、祭りや伝承、匠の技や味等のPR活動を全国や海外に向け展開した。 (協議会の主な事業) ・パンフレットやホームページによるPR ・飛越地域への海外誘客の促進	知事政策局
富山 - 東京便利用団体観光旅客誘致事業 (24,368千円)	富山 - 羽田便の利用促進のため、同便を利用する団体旅客に対して、宿泊費等の助成を実施した。	総合交通政策室
「鉄軌道王国とやま」情報発信事業 (2,499千円)	本県が有する多様な鉄軌道の魅力を総合的に国内外に情報発信するため、多言語に対応した「鉄軌道王国とやま」専用ポータルサイト及びPRリーフレットを制作した。	総合交通政策室
ディスカバー北陸プロジェクトへの参画 (850千円)	北陸三県の行政と新聞社が連携して、首都圏および北陸三県の大学生と協働した取組みを行うなど、北陸エリアの地域力向上のための事業を実施した。	地域振興課
北陸イメージアップ推進会議負担金 (1,600千円)	北陸経済連合会、北陸電力及び北陸三県で推進会議を構成し、北陸の魅力を地域内外に発信して、北陸のイメージアップを図った。 ・北陸新幹線開業による北陸のイメージ変化を調査 ・首都圏の交通事業者と連携したイメージアップイベントの実施 ・Facebook「北陸物語」での情報発信 など	地域振興課

#### (4) 映画等の誘致や多様なメディアの活用・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
映画を活用した観光PR事業 (5,032千円)	本県が舞台やロケ地となる映画の誘致を進めるとともに、これらの映画を活用した観光PRを実施した。 ・アニメ「クロムクロ」、映画「真白の恋」「追憶」のロケ地PR	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「木曾義仲出世街道」再発見・再発信事業 (1,729千円)	越中富山を舞台に活躍した「義仲と巴」のゆかりの史跡や伝承の発掘などにより、「義仲と巴」を活用した観光振興を図った。 ・「木曾義仲・巴御前」に関するエッセイを用いた観光PR紙面の作成及び全国誌(クレア・トラベラー2017年春号)への掲載 ・埴生護国八幡宮など、県西部の史跡を巡る史跡探訪バスツアーの実施	知事政策局
首都圏とやま情報発信力強化事業 (9,757千円)	首都圏メディアへのリリース配信、マスコミ各社とのリレーション構築やキャラバン訪問、イベント出展により、首都圏における誘客、販路開拓や定住・半定住、UIJターンの促進を行った。	知事政策局
全国PR事業 (614千円)	共同通信PRワイヤーを活用したリリース配信により、全国に向けて富山県内のイベントや首都圏で開催するイベントの情報等を発信し、本県の魅力やイベント等の認知度向上を図った。 ・配信本数 16本	広報課
首都圏メディア取材誘致事業 (426千円)	首都圏及び全国に発信すべき本県の重点広報事項(とやまブランド、特色ある施策・事業等)について、大きな露出効果が期待されるメディア掲載企画等に対して協賛又は本県への取材誘致を行い、本県のイメージ・認知度の向上を図った。	広報課

## 5 国際観光の推進：新たなゴールデンルートの形成に向けて

### (1) 広域観光周遊ルートの形成促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国際観光広域連携事業 (22,319千円)	北陸新幹線沿線地域や国のビジット・ジャパン(VJ)事業等と連携して、旅行会社、メディア等の招へいや現地プロモーションの実施等により、「新ゴールデンルート」など広域観光周遊ルートの形成促進を図った。	観光課
中部広域観光推進協議会負担金 (3,000千円)	中部北陸9県の地方公共団体、観光団体、企業等が連携して域内の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。 ・ハイレベルミッションの派遣(ベトナム) ・国際観光振興事業の展開 など	観光課
北陸国際観光テーマ地区推進富山協議会負担金 (2,800千円)	北陸3県及び管内自治体等と組織している北陸国際観光テーマ地区推進協議会において、海外の旅行博への出展や旅行会社等の招聘を実施するなど、広域観光の促進を図った。	観光課
(独)国際観光振興機構負担金 (720千円)	(独)国際観光振興機構(JNTO)の賛助団体に加入し、JNTOの海外事務所のネットワークを活用した訪日旅行市場に関する情報収集や海外へのPRにより、本県の海外での認知度向上を図った。	観光課

### (2) 外国人個人旅行者(FIT)の受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
欧米等FIT(外国人個人旅行者)向け着地型商品造成事業 (389千円)	民間事業者が行う外国人個人旅行者向けの着地型観光商品の造成を支援した。 ・助成件数 2件	観光課
外国人旅行者向け利便性向上事業 (764千円)	富山県外国語観光HP及び外国語版パンフレットを活用し、本県を訪れる外国人旅行者の利便性向上を図った。	観光課
外国人対応サービス人材育成事業(再掲) (16,816千円)	外国人旅行者の受入態勢を充実させるため、観光事業者において雇用型訓練を実施することにより、外国人旅行者に接遇やサービスを提供できる人材を育成した。	観光課



事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業(再掲) (2,912千円)	<p>外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光案内標識(県事業) 改修件数 32件</li> <li>・外国語観光サイン整備(市町村補助事業) 補助件数 新規2件 改修6件</li> </ul>	観光課
訪日旅行・富山 旅行センター運 営事業(再掲) (8,700千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュ1名を富山駅構内に配置	観光課
とやま観光未来 創造塾事業(再 掲) (16,196千円)	<p>おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。</p> <p>○修了生 43名 (内訳)</p> <p>観光おもてなし入門コース 17名 観光ガイドコース(中級専攻) 11名 観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 3名 〃(観光地域リーダー専攻) 11名 グローバルコース 1名</p>	観光課
観光客への路線 バス案内表示等 整備事業 (1,371千円)	<p>外国人観光客等に英語や中国語等でわかりやすい案内表示等を整備する交通事業者等を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助件数 3件(バス計36台に外国語車内アナウンスを整備)</li> </ul>	総合交通政策室
とやま名誉友好 大使の委嘱 (160千円)	<p>外国人の本県在住経験者を「とやま名誉友好大使」に委嘱し、富山県を広く海外に紹介してもらうことにより、本県への関心を高め、観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱数 30人(全体1,424人委嘱)</li> </ul>	国際課
外国人旅行者商 店街おもてなし 事業 (457千円)	<p>商店街における外国人旅行者の受入れ態勢整備に係る取り組みを支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助件数 2件</li> </ul>	商業まちづくり課

### (3) 欧米豪など新規市場に向けた効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ミシュランガイド活用欧米誘客促進事業 (10,700千円)	平成28年6月に出版された『ミシュランガイド富山・石川(金沢)2016特別版』の英語版WEBサイトの制作支援及びWEBサイトのPR用チラシを作成し、欧米からの誘客促進を図った。	観光課
インド観光誘客促進事業 (2,599千円)	JNTO主催の現地旅行博覧会及び併設商談会に参加し、本県の観光資源をPRするなど、世界第2位の人口規模を誇り、近年の経済成長に伴い訪日観光客が増加しているインドからの誘客促進を図った。	観光課
海外クルーズ見本市への出展 (866千円)	米国・フォートローダーデールで開催されたクルーズ見本市に出展し、伏木富山港及び本県の豊かな観光資源について広くPRを行った。	地方創生推進室

### (4) 東アジア・東南アジアからのリピーター拡大

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
台湾観光説明会事業 (5,082千円)	知事と現地旅行会社トップ等との意見交換会、観光説明会を開催し、台湾からのさらなる誘客促進を図った。	観光課
台湾冬季誘客促進PR事業 (2,574千円)	冬季の着地型観光商品の造成に対する支援や旅行会社の招聘等を実施し、台湾からの冬季誘客促進を図った。	観光課
富山ー台北便活性化誘客推進事業 (29,988千円)	台北ー富山便を利用する富山ツアーを催行した台湾の旅行会社を支援し、台湾からの誘客促進を図った。	観光課
台湾等との教育交流促進事業 (1,330千円)	本県と直行便で結ばれている台湾の教育旅行関係者の招聘や教育旅行誘致を行うとともに、県内の学校との各種交流事業を支援するなど、将来の本県へのリピーターづくりや台湾との教育交流の促進を図った。	観光課
台湾観光案内サポーター設置事業 (741千円)	台湾出身の観光案内サポーターを設置し、繁体字での情報発信や観光事業者と台湾人観光客とのコミュニケーションを支援した。	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
中国誘客強化事業 (12,357千円)	広州での観光セミナーの実施や成都・広州の旅行会社訪問を行ったほか、大連－富山便を利用する富山ツアーを催行した中国の旅行会社を支援し、中国からの誘客促進を図った。	観光課
中国便利用促進に向けた観光客誘客促進事業 (30,000千円)	上海－富山便を利用する富山ツアーを催行した中国の旅行会社を支援し、中国からの誘客促進を図った。	観光課
上海F I T (外国人個人旅行者)誘客促進PR事業 (3,569千円)	富裕層や個人旅行者をターゲットとする中国の旅行会社に対し、F I T向けの観光資源やモデルコースを紹介したほか、中国SNSを活用した情報発信等を行い、上海からの個人旅行者の誘客促進を図った。	観光課
観光客誘致広告支援事業 (6,009千円)	中国、韓国の旅行業者等が企画・催行する富山県向け旅行商品の広告製作を支援し、観光客の誘客促進を図った。	観光課
東アジア冬季インバウンド誘客強化事業 (27,306千円)	冬季の誘客を強化するため、本県と直行便を有する大連、ソウル、台北、上海から現地テレビ局等のメディアを招聘し、旅番組等の制作により、現地テレビ局での放送やインターネット(SNS)等での情報発信を行い、本県の冬の観光資源の認知度向上を図った。	観光課
東南アジア誘客事業 (15,900千円)	<p>東南アジアからの誘客促進を図るため、旅行会社と連携し、インドネシア旅行会社の招聘、インドネシア及びベトナムの旅行博への出展、富山－羽田便を利用した旅行商品の造成支援等を行った。</p> <p>また、ベトナムにおいて知事トップセールスによる観光プロモーションを実施し、観光説明会や商談会の開催、旅行会社訪問を行ったほか、タイにおいて、旅行会社訪問や一般消費者向け観光PRイベントを開催するなど、東南アジアからの誘客促進を図った。</p>	観光課
大連事務所運営費 (20,822千円)	<p>富山県と中国との交流拡大を推進する大連事務所を拠点にし、観光振興のための各種取組みを展開し、中国からの観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大連日本商品展覧会」、「天皇誕生日祝賀レセプション(瀋陽、大連)」等での観光PR活動</li> <li>・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR等</li> </ul>	国際課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやまの農林水産物輸出促進事業 (12,526千円)	県産農林水産物の海外への輸出を促進するための各種施策を展開し、海外に向けて県産農林水産物の魅力を発信した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・香港、台湾、シンガポール、タイの食品バイヤーとの県内商談会の開催</li> <li>・香港フード・エキスポへの参加</li> <li>・シンガポール「Food Japan」への参加 など</li> </ul>	農林水産企画課

## 6 コンベンションの誘致促進：国際会議も富山で開こう

### (1) 国際会議の誘致強化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国際会議「富山で開こう。」推進事業 (2,704千円)	ICCA(国際会議協会)への加盟、及びデータベースを活用した国際会議誘致の強化や、観光案内等に外国語で対応できるボランティアの育成などを実施した。 また、大学教員等、県内のコンベンション主催者を対象に本県の支援制度等を紹介するセミナーを実施した。 (平成29年2月23日)	観光課

### (2) 本県の特色等を活かした戦略的なコンベンション誘致

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(公財)富山コンベンションビューロー補助金 (14,711千円)	(公財)富山コンベンションビューローの運営経費等に補助し、当該団体が実施する主催者支援事業及び誘致活動等を支援した。	観光課
コンベンション指導情報提供業務委託事業 (5,000千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場を運営する富山大手町コンベンション(株)を活用し、県や主催者への情報提供、施設の利用調整等を実施した。	観光課
コンベンション誘致促進事業 (2,646千円)	コンベンションに関する情報をデータベース化し、コンベンションの誘致を効果的に実施した。また、コンベンション参加者の満足度向上を図るため、会場において運営補助を行なうスタッフを配置するとともに、観光案内等を行うインフォメーションコーナーを設置した。	観光課
コンベンション誘致宣伝事業 (2,399千円)	本県の優れたコンベンション開催環境をアピールするために、商談会への出展や主催者招へい事業を実施した。本県のコンベンション開催支援制度等をPRするとともに、会議施設や宿泊施設、エクスカージョンのモデルコース等を視察してもらうなど、コンベンションの誘致に努めた。 ・商談会 平成28年12月6日～7日(東京) ・国際会議キーパーソン招へい・商談会 平成29年3月8日～9日(富山)10日(東京) ・主催者招へい 2回(富山)	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
誘致訪問活動 (728 千円)	県内及び首都圏等において、コンベンションの主催者等を訪問し、積極的な誘致活動を展開し、本県へのコンベンション開催の誘致促進を図った。	観光課
「富山で合宿！」 誘致事業 (7,824 千円)	県外の大学、短大、高校等が県内で行うクラブ、サークル等の合宿に係る費用の一部を助成し、富山県への合宿の誘致促進を図った。 ・補助実績 50 団体	地域振興課

### (3) 主催者のニーズに配慮した支援制度の充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山国際会議場 運営費補助金 (28,630 千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場の運営等を支援した。	観光課
学会等開催補助 金 (15,589 千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 25 件	観光課

### (4) 富山の魅力を活かしたユニークベニューやアフターコンベンション等の提案

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション タクシー助成事 業 (549 千円)	県外からのコンベンション参加者が県内を観光する際のタクシー料金の一部を助成することにより、アフターコンベンションを支援した。 ・補助件数 72 件	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
おもてなしタクシードライバー養成事業(再掲) (313千円)	<p>質の高いおもてなしやきめ細やかなサービスを提供できる優れたタクシードライバーとして表彰されたおもてなし優良タクシードライバーを対象に、フォローアップ研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年2月21日、参加者20人</li> </ul> <p>また、コンベンションタクシーを担当するドライバーを主に対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、観光案内や接遇等、おもてなし力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年7月28日、8月3日・24日・25日</li> </ul> <p>参加者45人</p>	観光課